

北山町地区まちづくりニュース

【アンケート調査結果(概要版)】

平成29年12月発行

日頃より、市政へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本年7月に北山町地区の地区住民・地権者の皆さまを対象に、「まちづくりアンケート調査」を実施しましたところ、およそ3割の皆さまからご回答いただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

このたび、アンケート調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。(2ページ以降に対象地区の調査結果を記載しています。)

アンケート調査結果について

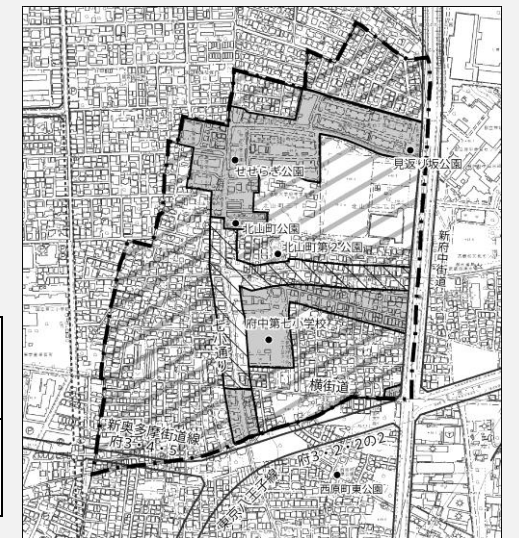
実施期間：

平成29年7月7日(金)

～24日(月)

回収率

地区名	配布数	回収数	回収率
北山町	1,975	645	32.7%



- 北山町地区
- 低密度住宅ゾーン
- 中密度住宅ゾーン
- 近隣商業ゾーン

「まちづくりアンケート調査に関する報告会」を開催しました

北山町・西原町地区は、新府中街道の交通開放や現在事業が進められている東京八王子線、新奥多摩街道線の整備などにより、今後周辺環境の変化が予想されます。特に、北山町1丁目及び2丁目地区は、狭あい道路が多い地域で、東京都が策定した「防災都市づくり推進計画」において、「木造住宅密集地域」に該当しています。

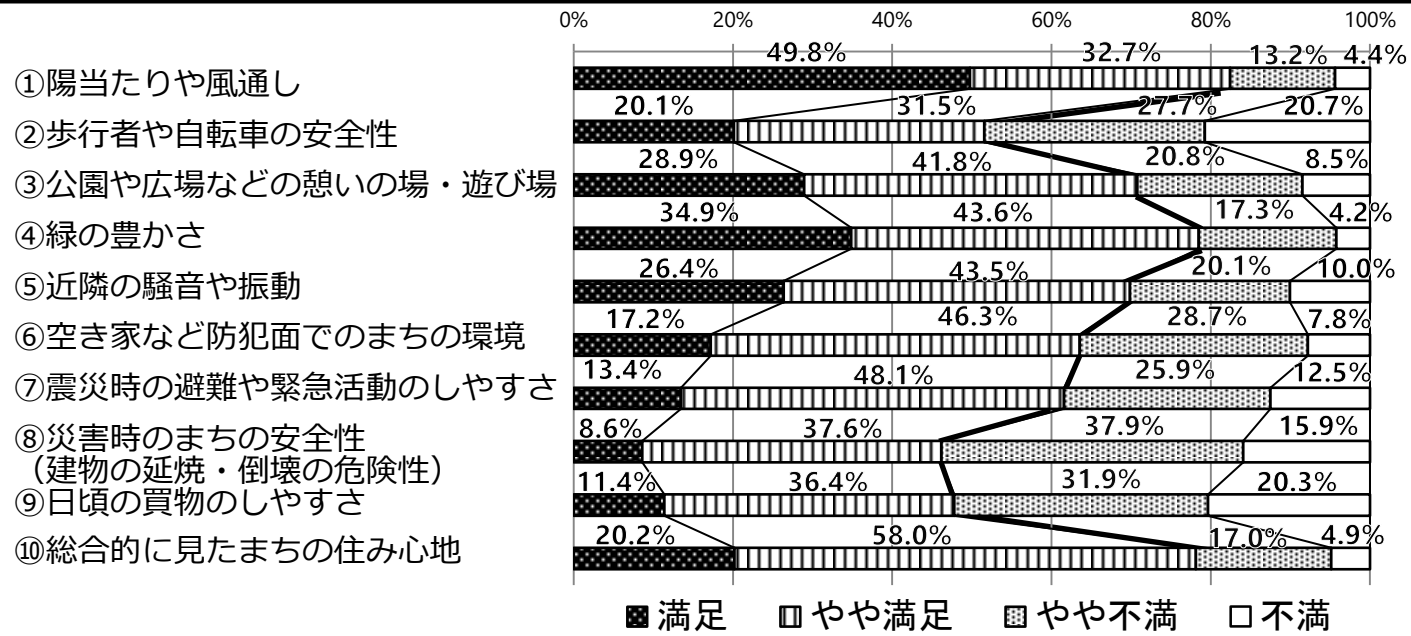
これらの課題などを地域の皆さまと共有するため、まずは地元の自治会長の皆さまなどを対象に「まちづくりアンケート調査に関する報告会」を合同で開催し、アンケート調査結果を報告させていただきました。今後につきましては、まちづくりニュースを通じて、地域の皆さまに随時お伝えさせていただきます。



報告会の様子

日時	11月15日(水)19:00～20:30
場所	武蔵台文化センター
出席	6名
内容	アンケート調査結果について 今後のまちづくりの進め方について

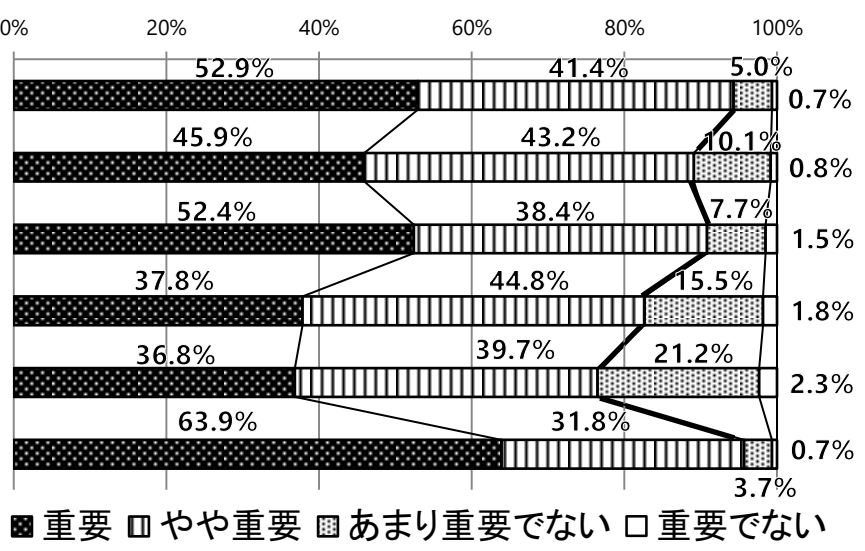
問2 あなたのお住まい周辺の環境の現状について、どのような印象をお持ちですか。



⇒「満足」「やや満足」と回答した割合は、「①陽当たりや風通し」「⑩総合的に見たまちの住み心地」において高い一方で、「⑧災害時のまちの安全性」「⑨日頃の買物のしやすさ」「②歩行者や自転車の安全性」では低くなっています。

イ.「まちの将来像」を目指した取組

- ①隣地との敷地境界から、ある程度の距離を取って建物を建てるようにする
- ②建物の密集を避けるため、敷地が小さく分割されないように規制する
- ③震災時に倒壊の危険性のあるブロック塀などの設置を規制する
- ④敷地まわりの緑やゆとりを確保するため、敷地の緑化を進める
- ⑤住戸面積の狭いアパートやワンルームマンションの建設を抑制する
- ⑥狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する



「⑦その他」(抜粋)

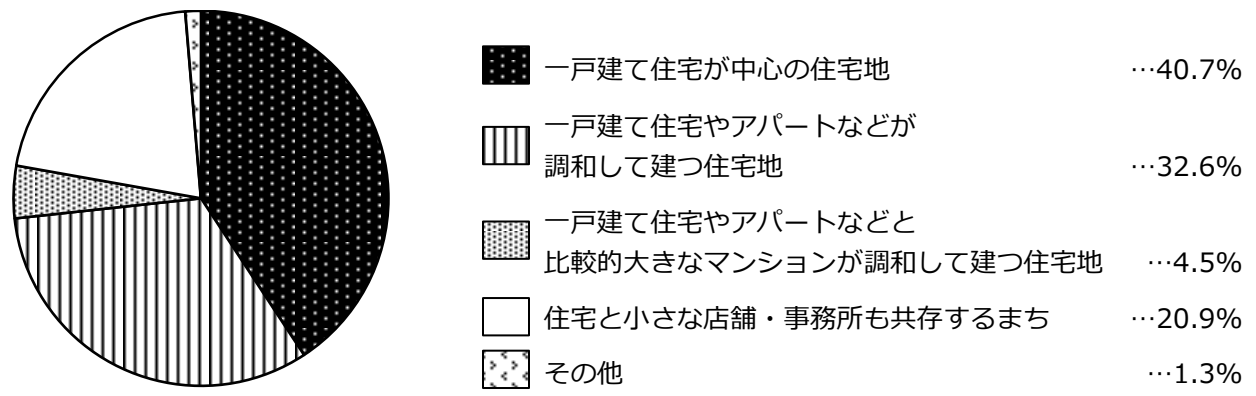
- ・自転車、歩行者と車は別に。
- ・計画道路を早く進めてほしい。
- ・横街道の交通緩和
- ・街灯等の設置
- ・狭い路地での居住者以外の車の規制
- ・近隣住民同士のつながりを大切にしまちづくり

⇒「重要」「やや重要」と回答された割合は全体的に高い傾向を示しており、ほぼ全ての項目において8割を超えています。

問3 北山町地区の今後のまちづくりの方向性について、お答えください。

問3-1.「低密度住宅ゾーン」についてお伺いします。

ア.「まちの将来像」に関するイメージ



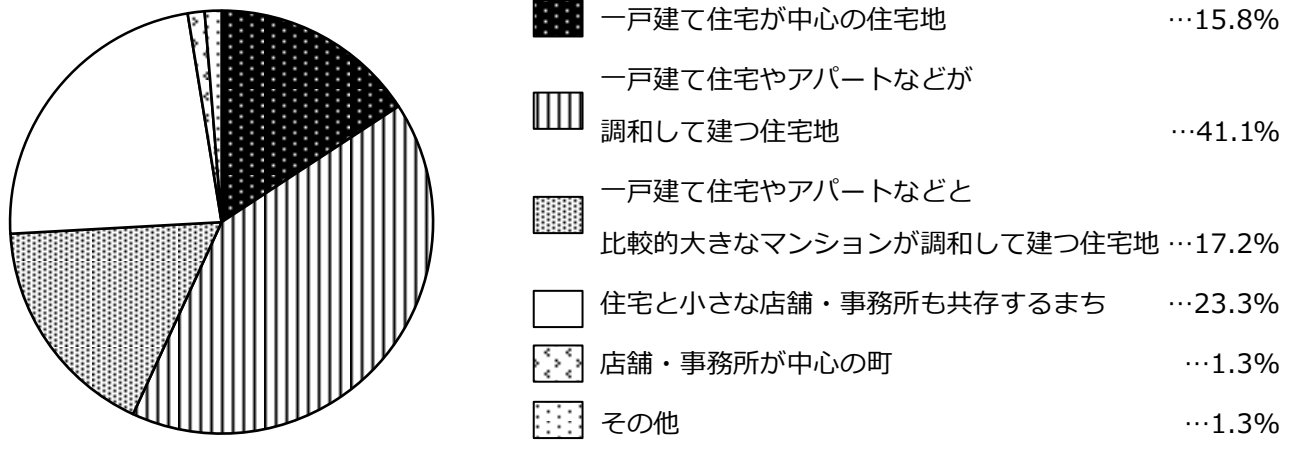
「⑤その他」(抜粋)

- ・大きなマンションはない方が望ましい。
- ・静かさを重視した住まい
- ・高齢者増なので、近隣に公共機関や銀行等を。
- ・交通機関の充実と、住宅・店舗の共存

⇒「一戸建て住宅が中心の住宅地」が4割と最も高く、次いで「一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地」「住宅と小さな店舗・事務所も共存するまち」が高くなっています。

問3-2.「中密度住宅ゾーン」についてお伺いします。

ア.「まちの将来像」に関するイメージ



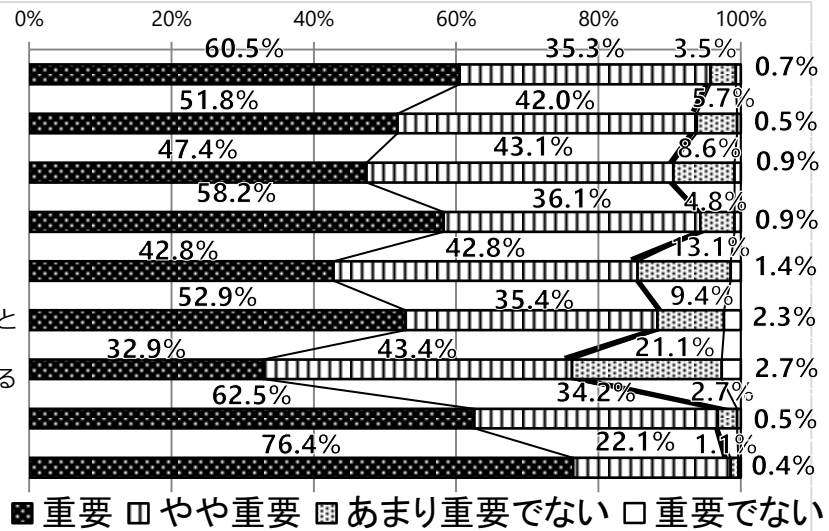
「⑥その他」(抜粋)

- ・医療センターに囲まれているので、大きな建物はダメ。
- ・現状の公営住宅のまま。
- ・コミュニティルーム等があるとよい。
- ・行き止まりが多い。
- ・この地区には店舗が少なく、高齢者には不便である。

⇒「一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地」が4割と最も高く、次いで「住宅と小さな店舗・事務所も共存するまち」の割合が高くなっています。

イ。「まちの将来像」を目指した取組

- ①周辺の住宅地に配慮して、建物の高さを適切に抑制する
- ②隣地との敷地境界から、ある程度の距離を取って建物を建てるようにする
- ③建物の密集を避けるため、敷地が小さく分割されないように規制する
- ④震災時に倒壊の危険性があるブロック塀などの設置を規制する
- ⑤敷地まわりの緑やゆとりを確保するため、敷地の緑化を進める
- ⑥住宅地にふさわしくない店舗や事務所などの立地を防ぐこと
- ⑦住戸面積の狭いアパートやワンルームマンションの建設を抑制する
- ⑧狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する
- ⑨災害時の避難路や緊急輸送道路となるよう、沿道建築物を燃えにくく、壊れにくい建物にする



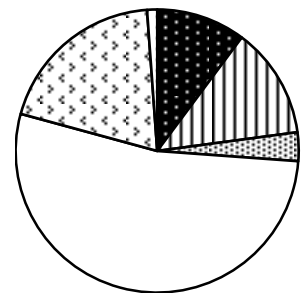
「⑩その他」(抜粋)

- ・歩道の確保
- ・閉まっているままの店が多く、治安が良くない。
- ・ワンルームは認めても良い。
- ・緑の歩道を整備してほしい。
- ・府中の中心から離れているので疎外感がある。
- ・空き家が増えた。

⇒「重要」「やや重要」と回答された割合は全体的に高い傾向を示しており、ほぼ全ての項目において8割を超えています。

問3-3.「近隣商業ゾーン」についてお伺いします。

ア。「まちの将来像」に関するイメージ



- ① 重要 10.2%
- ② 重要 12.7%
- ③ 重要 3.3%
- ④ 重要 53.1%
- ⑤ 重要 19.6%
- ⑥ 重要 1.2%

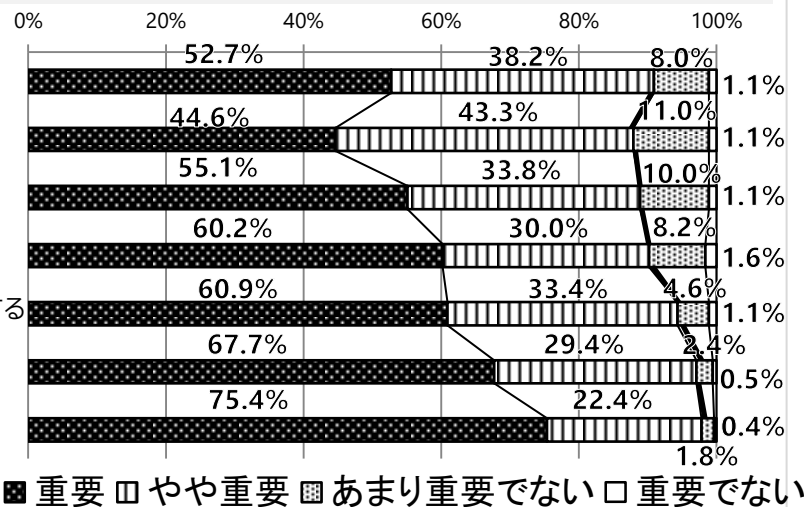
「⑥その他」(抜粋)

- ・戸建ての方は長く住み、地域との交流にも良い。
- ・派手なネオンや風俗店は作ってほしくない。
- ・高層の商業施設はない方が望ましい。
- ・スポーツ公園
- ・混然として道が狭い。

⇒「住宅と小さな店舗・事務所も共存するまち」が5割強となっており、次いで「店舗・事務所が中心のまち」の割合が高くなっています。

イ。「まちの将来像」を目指した取組

- ①周辺の住宅地に配慮して、建物の高さを適切に抑制する
- ②隣地との敷地境界からある程度の距離を取って建物を建てるようにする
- ③商業を活性化していく
- ④周辺住宅地にふさわしくない店舗や事務所等の立地を防ぐ
- ⑤震災時に倒壊の危険性のあるブロック塀などの設置を制限する
- ⑥狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する
- ⑦災害時の避難路や緊急輸送道路となるよう、沿道建築物を燃えにくく、壊れにくい建物にする



「⑧その他」(抜粋)

- ・信号機の数を増やす。
- ・新しく作っている大きな道の沿道も、近隣商業ゾーンにしたら活性化する。
- ・商店街活性のためイベントを行う。
- ・道路幅を広くする。
- ・小学校の敷地はそのままにしてください。

⇒「重要」「やや重要」と回答された割合は全体的に高い傾向を示しており、ほとんどの項目において9割を超えています。

問4 東京八王子線と新奥多摩街道線についてお伺いします。

ア。「まちの将来像」に関するイメージ

①まちの土地利用イメージ

選択肢	割合
一戸建て住宅が中心の住宅地	14.1%
一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地	23.9%
一戸建て住宅やアパートなどと比較的大きなマンションが調和して建つ住宅地	16.0%
比較的大きなマンションが中心の住宅地	4.4%
住宅と店舗・事務所が共存するまち	35.0%
店舗・事務所が中心のまち	5.8%
その他	0.8%

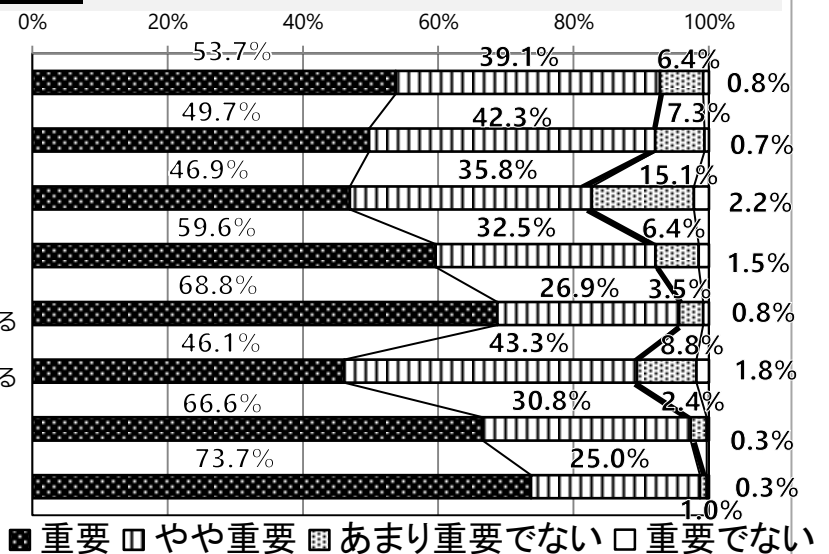
②まちの建物高さイメージ

選択肢	割合
1～2階建(高さ6m程度)の建物で構成されるまち	19.6%
3階建(高さ10m程度)以下の低層の建物で構成されるまち	40.3%
4～5階程度(高さ15m程度まで)の中層建物も立地するまち	27.8%
6～8階程度(高さ25m程度まで)の中層建物	8.4%
9階程度以上の高層建物も立地するまち	3.4%
その他	0.5%

⇒土地利用としては「住宅と店舗・事務所が共存するまち」の割合が高く、建物高さとしては「3階建以下の低層の建物で構成されるまち」の割合が高くなっています。

イ。「まちの将来像」を目指した取組

- ①周辺の住宅地に配慮して、建物の高さを適切に抑制する
- ②隣地との敷地境界から、ある程度の距離を取って建物を建てるようにする
- ③商業を活性化していく
- ④周辺住宅地にふさわしくない店舗や事務所等の立地を防ぐ
- ⑤震災時に倒壊の危険性があるブロック塀などの設置を抑制する
- ⑥敷地まわりの緑やゆとりを確保するため、敷地の緑化を進める
- ⑦狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する
- ⑧災害時の避難路や緊急輸送道路となるよう、沿道建築物を燃えにくく、壊れにくい建物にする



⑨その他、重要だと思うこと(抜粋)

- ・景観を整備する。
- ・自転車専用レーンがほしい。
- ・若くて活気あって買物に便利な街にできるとよい。
- ・バス路線を作してほしい。
- ・街灯を増やすことが重要。

⇒「重要」「やや重要」と回答された割合は全体的に高い傾向を示しており、ほぼ全ての項目において8割を超えています。特に、「⑧災害時の避難路や緊急輸送道路となるよう、沿道建築物を燃えにくく、壊れにくい建物にする」「⑤震災時に倒壊の危険性があるブロック塀などの設置を抑制する」については「重要」の回答のみで7割前後を占めています。

北山町地区のまちづくりについてご意見・ご要望等

- ・今後、適時情報開示をお願いする。
- ・強権的な計画の進め方だけは避けてほしい。
- ・雑然とした街ではなく、調和のとれた街にすることを期待している。
- ・災害時の避難経路の十分な確保が必要である。
- ・コミュニティの良い地域だと思う。これを崩さないようにして、まちづくりをしてほしい。

問5 勉強会への参加意向

選択肢	割合
是非参加したい	6.5%
都合が合えば参加したい	72.7%
参加したくない	20.8%

発行・問合せ先：府中市 都市整備部 計画課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地
TEL：042-335-4335(直通) FAX：042-335-0499
Mail：tosikei01@city.fuchu.tokyo.jp